資料4-1 令和5年度第1回 事業評価委員会

東京都市計画都市高速鉄道事業西武鉄道新宿線(中井駅~野方駅間)

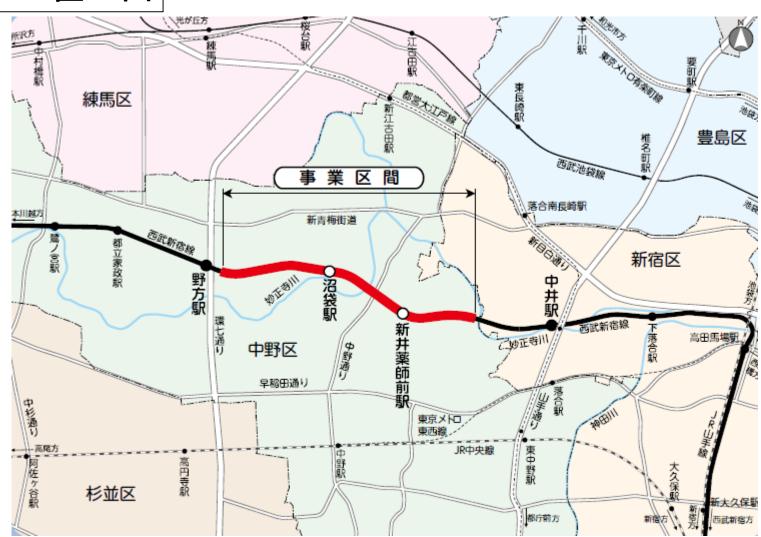
令和5年6月30日(金) 建設局 道路建設部

目次

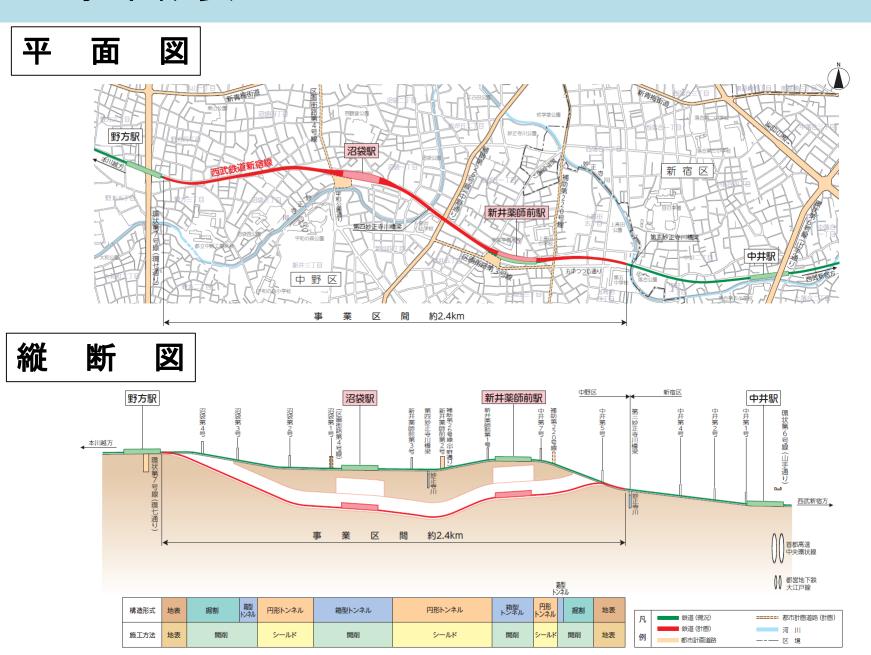
1.	事業概要	 1
2.	社会経済情勢等の変化	 4
3.	事業の投資効果	 5
4.	事業の進捗状況	 11
5.	事業の進捗の見込み	 17
6.	コスト縮減等	 18
7.	対応方針(原案)	 19
8.	周辺まちづくり(参考)	 20

1. 事業概要

位置図



1. 事業概要



1. 事業概要

事業期間

平成25年度~令和8年度

事業の概要

本事業は、西武鉄道新宿線の中井駅~野方駅付近の約2.4kmにおいて鉄道を地下化することにより、7箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。

経緯

年度	計画等
平成23年8月	都市計画変更
平成25年4月	都市計画事業認可 平成25年度~平成32年度
令和2年4月	事業認可変更 平成25年度~令和8年度

2. 社会経済情勢等の変化

ピーク時1時間当たりの踏切遮断時間の変化

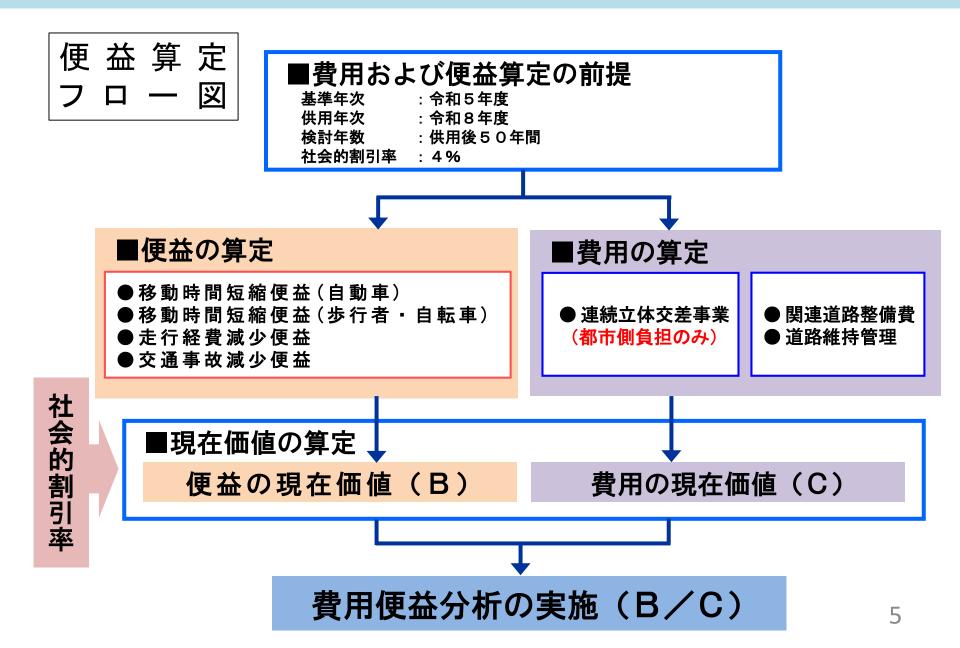
踏切名称	平成26年度	令和元年
新井薬師前第1号	49分	46分
新井薬師前第2号	44分	47分
沼袋第1号	46分	44分



関連する他事業等の進捗状況の変化

新井薬師前2号踏切道 (中野通り)

- 東京都市計画道路事業区画街路中野区画街路第3号線 用地取得中 (平成28年度~令和11年度)
- 東京都市計画道路事業区画街路中野区画街路第4号線 用地取得中 (平成29年度~令和7年度)
- ·東京都市計画道路事業幹線街路補助線街路第220号線 用地取得中 (平成27年度~令和11年度)



定量的効果

【事業全体】

※()内は前回評価時

便益(B)	移動時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	1, 375. 6億円	136.1億円	13.3億円	1, 525. 1億円	
費用(C)	連続立体交差 事業費	関連道路 整備費	維持管理費	総費用	1.5
	860. 2億円	183. 7億円	2. 5億円	1, 046. 4億円	(1.2)

- 注1)費用便益分析マニュアル〈連続立体交差事業編〉(国土交通省 令和4年2月)に基づき分析した。
- 注2)費用(C)の算定は、都市側負担額で算出している。
- 注3) 便益・費用については、基準年度における現在価値化後の値である。
- 注4) 便益及び費用合計額は、表示桁数の関係で計画値と一致しないことがある。

定性的効果

	事項	説明資料	
六 番	交通渋滞の解消、歩行者・自転車の回遊性の向上	_	
交通 	バスの定時性の向上	有	
151	上部空間の活用による都市機能の向上	有	
\ 	市街地分断の解消		
*	緊急車両のアクセシビィリティの向上		
安全 	通学路の安全確保	有	
環境	自動車交通の円滑化による環境負荷の軽減		
防災	都市防災機能の向上		
その他	関連事業の誘発		

定性的効果

<交通>交通渋滞の解消、歩行者・自転車の回遊性及びバスの 定時性の向上

踏切の除却や新井薬師前駅・沼袋駅の地下化により、南北市街地の 行き来が容易になり、歩行者・自転車の移動が円滑化され、回遊性が 向上する。

さらに、踏切渋滞が解消されて、バスの定時性が向上する。



新井薬師前駅周辺(新井薬師前第1号踏切)の状況



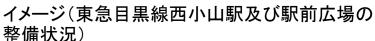
沼袋駅前周辺(沼袋第1号踏切)の状況

定性的効果

くくらし>上部空間(鉄道跡地)の活用による都市機能の向上

上部空間や駅前広場の活用によるにぎわいの創出







イメージ(広場でのイベント開催状況) 引用:品川区ホームページ https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/shinaga waphotonews/shinagawaphotonews-2021/20211020180407.html

定性的効果

<安全>通学路の安全性確保

踏切の除却により踏切を横断することなく通学できるようになる ため、通学路の安全が確保される。



事業費の執行状況

※令和4年度末時点

※()内は前回評価時

	用地費	工事費	合計
全体事業費	9,955百万円	111,957百万円	121,912百万円
	(8,651百万円)	(65,056百万円)	(73,707百万円)
執行済額	9,869百万円	45,354百万円	55,223百万円
	(7,609百万円)	(25,777百万円)	(33,386百万円)
(執行率)	99.1%	40.5%	45.3%
	(88.0%)	(39.6%)	(45.3%)

用地取得状況

取得予定面積(A)	既取得面積(B)	用地取得率(B/A)
5,366 m ²	5,245 m ²	97.7%
(5,363m²)	(4,809m²)	(89.7%)

事業費・変更の要因

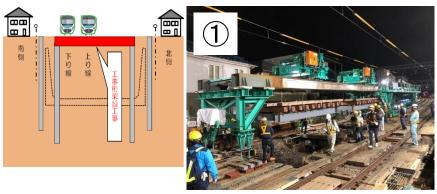
- •物価上昇
- ・仮設工事の施工計画の変更

事業の進捗状況

用地ついては約98%取得している。工事については軌道仮受工事や土留め工事等の仮設工事及び掘削工事を実施している。

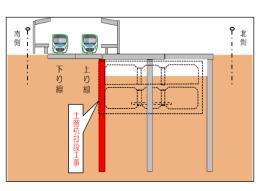
1 工 区 : 工 事 状 況

起点側取付部(開削部)



工事桁架設状況

新井薬師前駅部





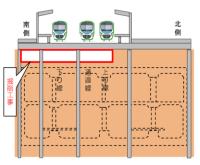
土留打設状況



2 • 3 工 区 : 工 事 状 況

沼袋駅起点側2工区(開削部)

沼袋駅起点側3工区(開削部)

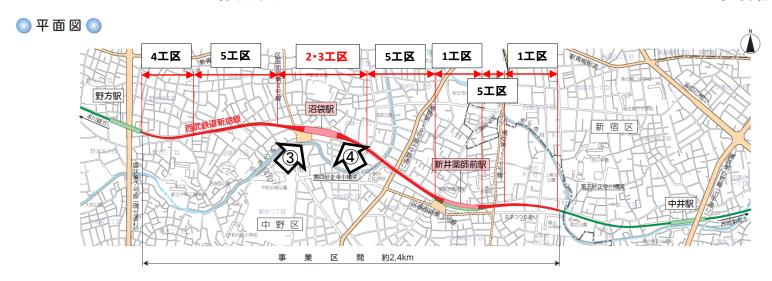






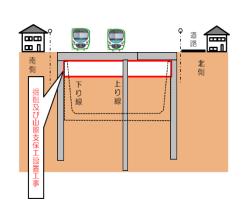
掘削状況

土留打設状況



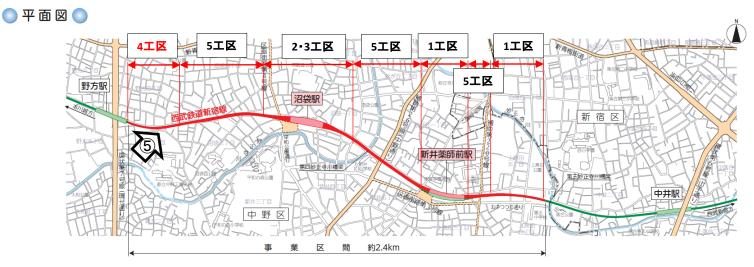
4 工 区 : 工 事 状 況

終点側取付部(開削部)





掘削状況



5 工 区 : 工 事 状 況

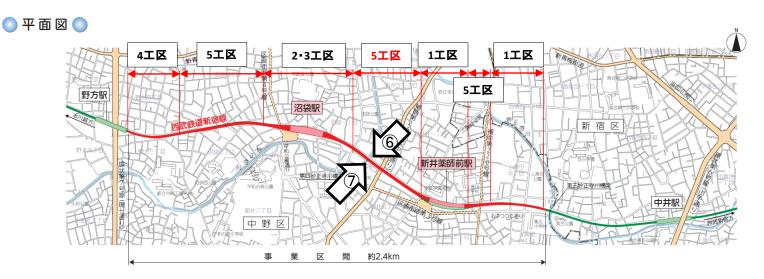
シールド部(第四妙正寺川橋梁部)



地盤改良用工事桟橋設置状況



地盤改良用工事桟橋



5. 事業の進捗の見込み

事業の進捗の見通し

用地については、早期の取得及び更地化を目指す。

工事については、取付部、駅部において残りの仮設工事及び掘削工事を実施し、完了後、本体工事を進める。

6. コスト縮減等

代替案立案の可能性

本事業を事業化するにあたり、鉄道の立体化を高架式、地下式等によって行う場合や、道路を単独で立体化する場合など、複数案で比較検討を行った結果、現在の構造形式及び事業手法を選定していることから、代替案立案の可能性は極めて小さい。

コスト削減の取組

- 工事数量を削減するため、ダイヤ改正を実施し、工事中の沼袋駅の配線を2面4線から2面3線とした。
- 今後とも、工事コストの削減の可能性を検討していく。

7. 対応方針(原案)

総 合 評 価

踏切の除却により、交通渋滞や踏切事故の解消及び鉄道による地域分断の解消を図るためには必要不可欠な事業であり、着実に事業を進めていく必要がある。

対 応 方 針 案

継続

中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、構築した構造物の撤去、国の補助金並びに鉄道事業者及び地元自治体の負担金の返還等の新たな費用が発生する。

さらに、踏切の除却を強く望む地元住民等の期待に応えられなくなるなど、中止による影響は多大。

8. 周辺まちづくり(参考)







H27.9 『西武新宿線沿線まちづくり整備方針』

→西武新宿線沿線地域まちづくりの将来像の決定

H29.5 『西武新宿線沿線まちづくり推進プラン』

→将来像の実現に向けた諸課題の整理

R4.6 『中野区都市計画マスタープラン』

【現在の基盤整備状況】

- ①補助220号線整備
- ②中野区画街路第3号線整備
- ③中野区画街路第4号線整備

